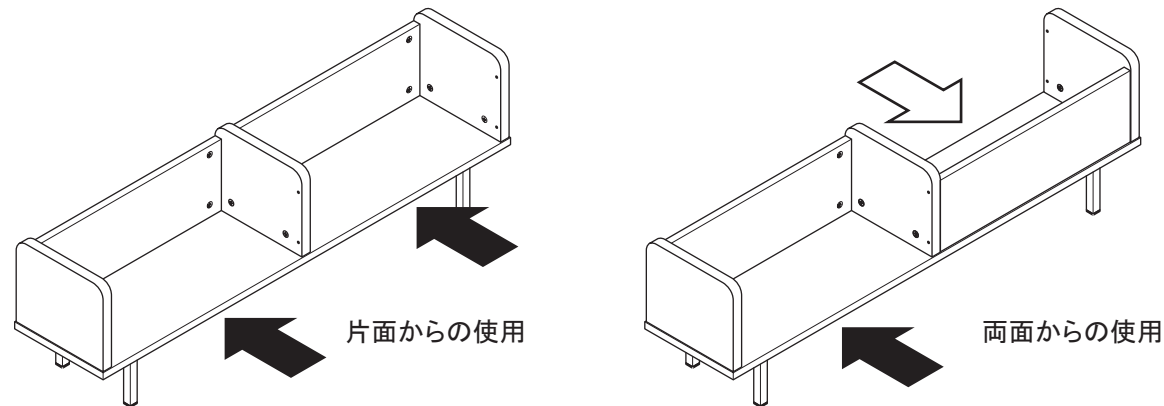


この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

組立時の、背板の取付位置により、片面からの使用と、対面からに使用に対応できます。
また、ご使用方法が変わった場合でも、組み立て直すことにより、変更が可能です。(組立説明書参照)



警告

- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 棚板には登らないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 棚板に20kg(等分布加重)以上のものをのせないでください。棚板が破損してケガをすることがあります。
- 各部のネジ類がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。
- 用途以外に使用しないでください。事故やケガをすることがあります。

■ 一般のご注意

- ・直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- ・移動するときは2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり天板面を傷つけることがあります。
- ・高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- ・棚板の上に水などをこぼしたら、直ちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれたりすることがあります。
- ・換気励行のお願い
製品購入時、化学物質の発散を感じる場合があります。暫くの間は、換気を十分行うよう心掛けてください。また、室内が著しく高温多湿(気温28度、湿度50%超)になる場合には、窓を閉め切らないか、強制換気を行ってください。

品質表示 MPT-K1226/K1026

■ 外形寸法：
MPT-K1226 幅 1200 × 奥行 260 × 高さ 360mm
MPT-K1026 幅 1000 × 奥行 260 × 高さ 360mm

■ 甲板の表面材：
合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)

■ 取扱い上の注意
直射日光または、熱を避けてください。
過熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないでください。

■ プラス株式会社 ガラージ事業部
東京都千代田区三番町6-14

made in TAIWAN

お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
 2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

お問い合わせ先 製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター / Tel.0120-331-753 (9:00~18:00 土日祝日、年末年始を除く)

組み立ての前に必ずお読みください。
不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。
重量がありますので、必ず2人以上で組み立ててください。



- 工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。
- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。

最初に必要なパーツがそろっているか確認してください

部材

使用工具 +ドライバー

no.2(中)、no.3(太)の両方をご用意ください



本説明書-1

底板(白)-1
底板 W1200 (W1200*D260*H18)
W1000 (W1000*D260*H18)

背板(白)-2
(左右の区別はありません)
背板 W1200 (W560*D182*H18)
W1000 (W460*D182*H18)

横フレーム(白)-2
横フレーム W1200 (W960*D20*H20)
W1000 (W760*D20*H20)

左右側板(白)-2
(左右の区別はありません)
側板 (W256*D212*H25)

仕切板(白)-1
仕切板 (W256*D212*H25)

側フレーム(白)-2
(左右の区別はありません)
側フレーム (W220*D130*H20)

背板用ジョイント円盤(銀)-8
(Φ15*13)

側板仕切板用ジョイント円盤(銀)-6
(Φ15*16)

背板用ジョイント円盤キャップ(白)-8

ジョイントピン(銀)-14 (M6*8)

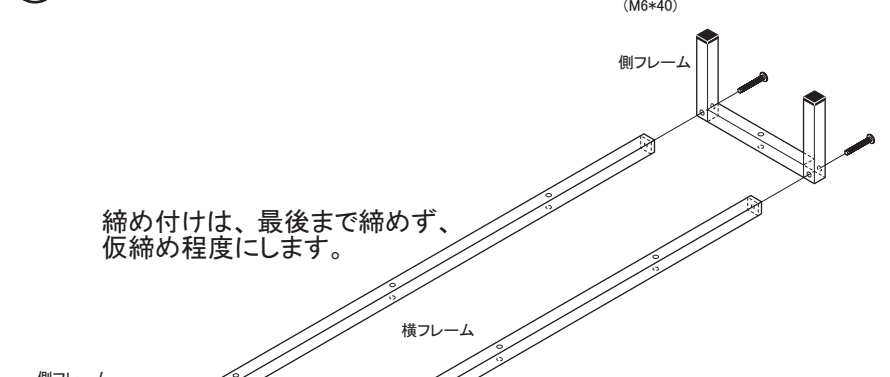
側フレーム取付ネジ(銀)-4 (M6*40)

フレーム取付ネジ(銀)-8 (M6*30)

※ジョイント円盤の高さ違いに注意
ジョイント円盤には、高さ違いで2種類あります。(高さ13mmと16mm)

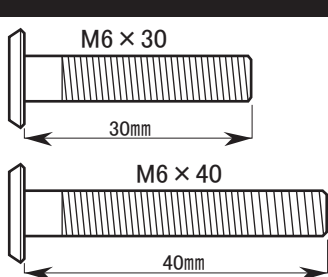
※ネジの長さ違いに注意
ネジは、長さの違う2種類を使用します。使用する長さを間違えると、底板に穴をあけることとなりますので、ご注意ください。

① 横フレームと、側フレームを側フレーム取付ネジで仮締めします。



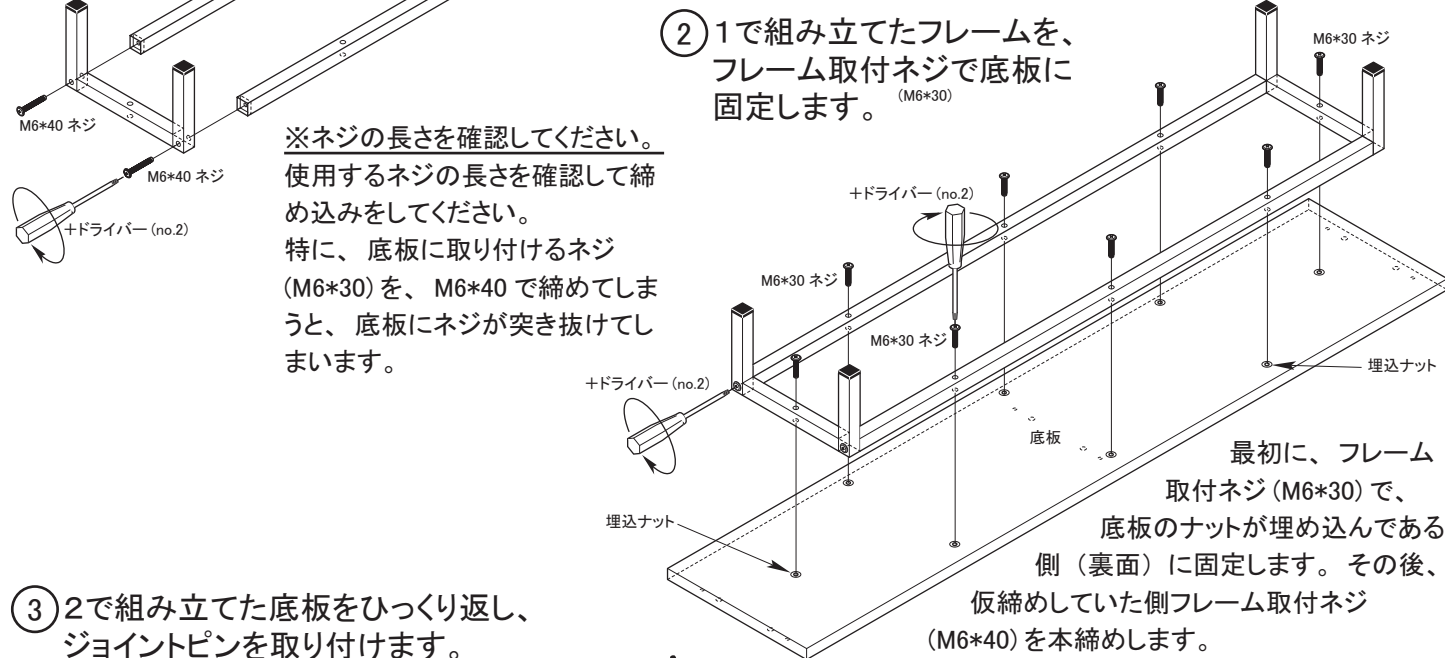
締め付けは、最後まで締めず、仮締め程度にします。

ネジ長さにはご注意ください



※ご注意ください
各締め付け部のネジ長さを間違えると、底板等に穴があいたりしますので、ネジ長さの確認をお願いします。

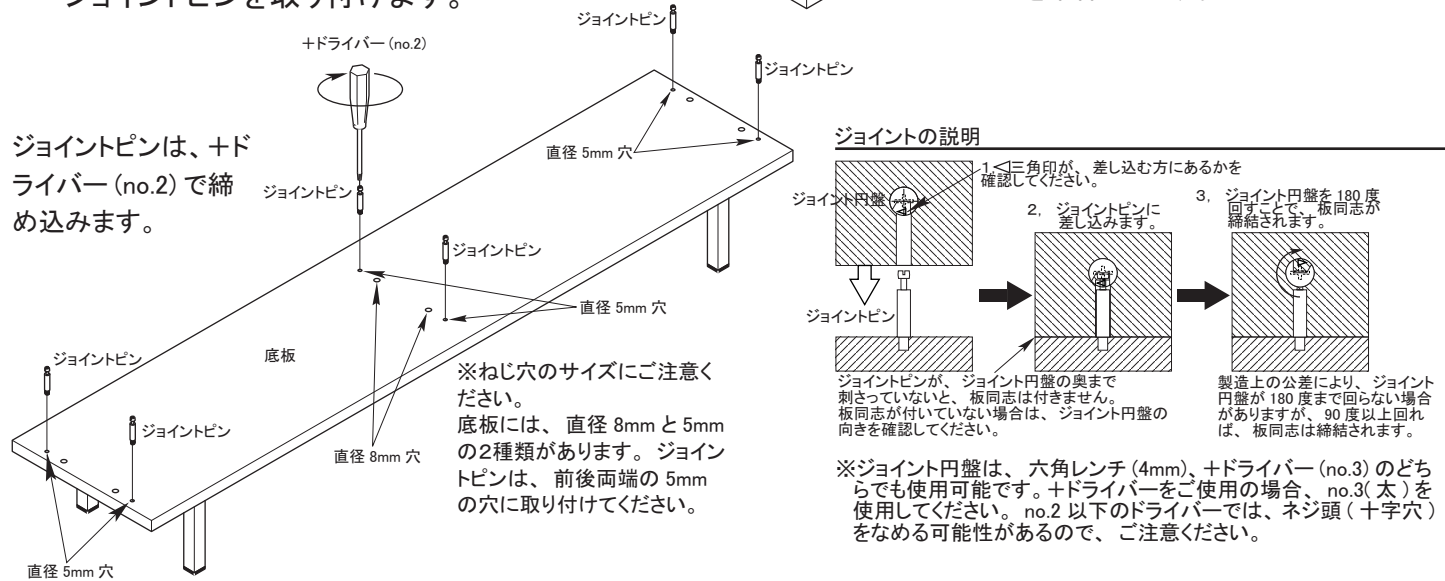
② 1で組み立てたフレームを、フレーム取付ネジで底板に固定します。



※ネジの長さをご確認ください。
使用するネジの長さをご確認ください。
特に、底板に取り付けるネジ (M6*30) を、M6*40 で締めると、底板にネジが突き抜けてしまいます。

最初に、フレーム取付ネジ (M6*30) で、底板のナットが埋め込んである側 (裏面) に固定します。その後、仮締めしていた側フレーム取付ネジ (M6*40) を本締めします。

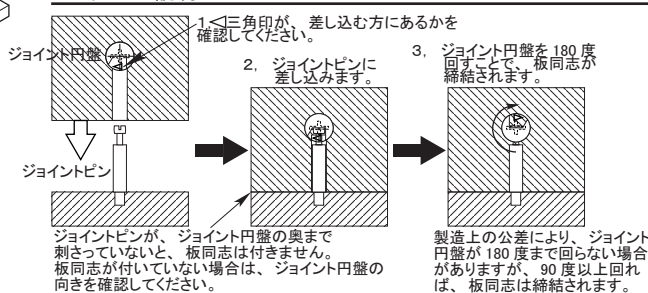
③ 2で組み立てた底板をひっくり返し、ジョイントピンを取り付けます。



ジョイントピンは、+ドライバー (no.2) で締め込みます。

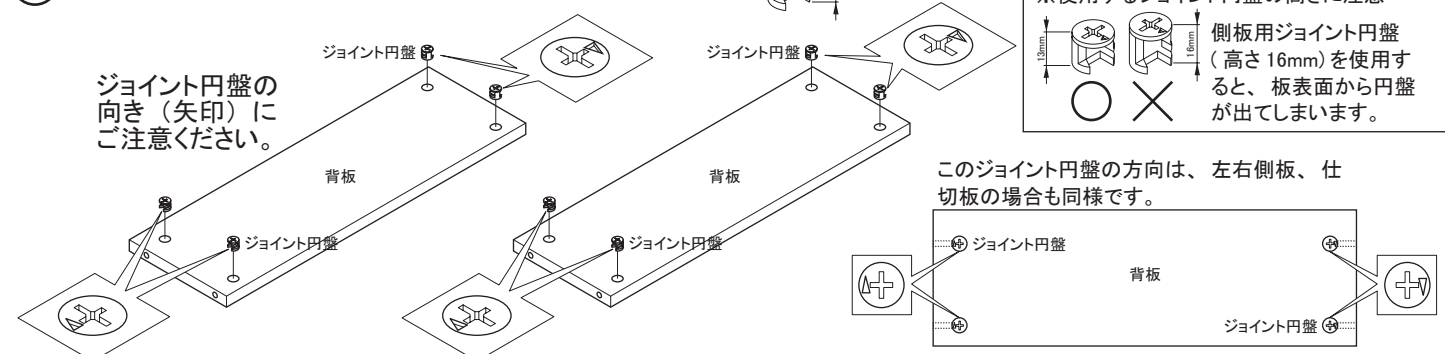
※ねじ穴のサイズにご確認ください。
底板には、直径8mmと5mmの2種類があります。ジョイントピンは、前後両端の5mmの穴に取り付けてください。

ジョイントの説明



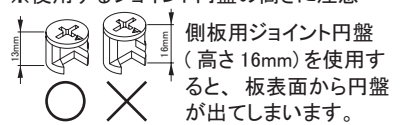
※ジョイント円盤は、六角レンチ (4mm)、+ドライバー (no.3) のどちらでも使用可能です。+ドライバーをご使用の場合、no.3 (太) を使用してください。no.2 以下のドライバーでは、ネジ頭 (十字穴) をなめる可能性があるため、ご注意ください。

④ 背板2枚に、背板用ジョイント円盤を差し込みます。



ジョイント円盤の向き (矢印) にご確認ください。

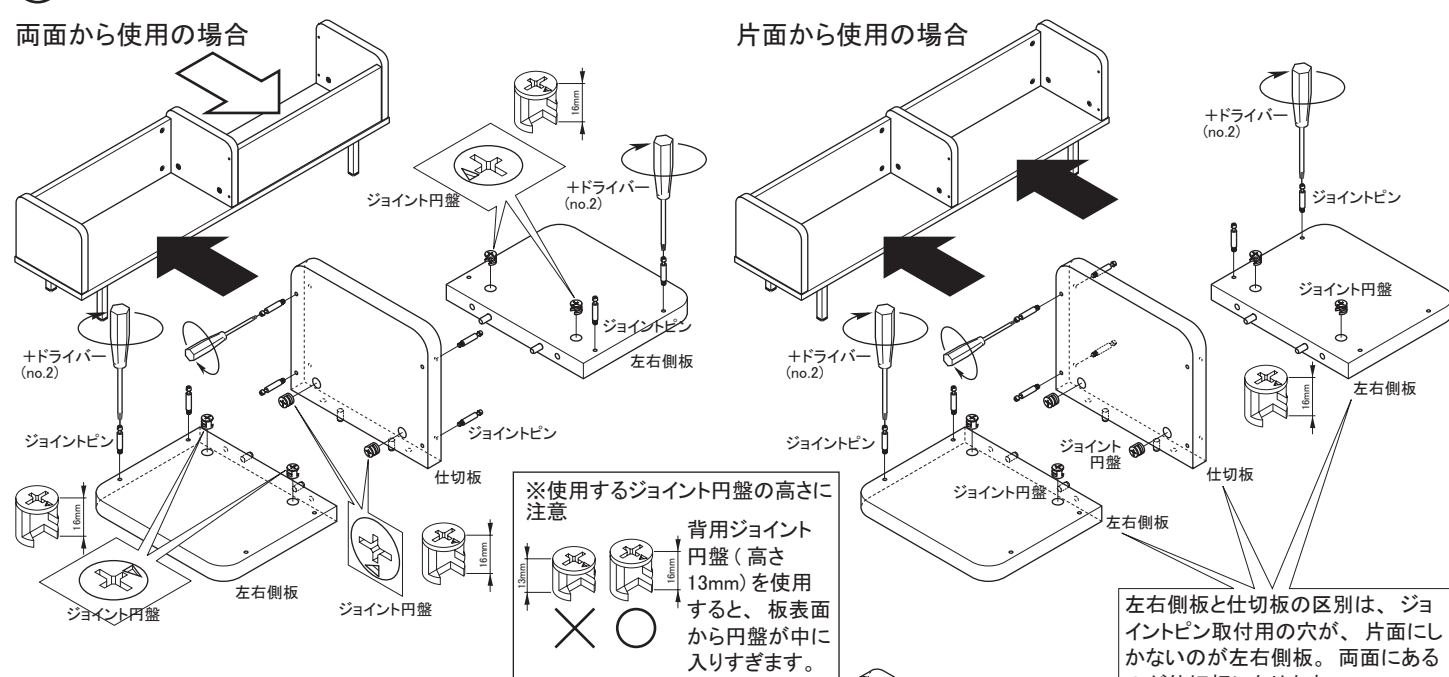
※使用するジョイント円盤の高さに注意



このジョイント円盤の方向は、左右側板、仕切板の場合も同様です。



⑤ 使う方向を決めて、側板、仕切板にジョイントピン、側板仕切板用ジョイント円盤を取り付けます。



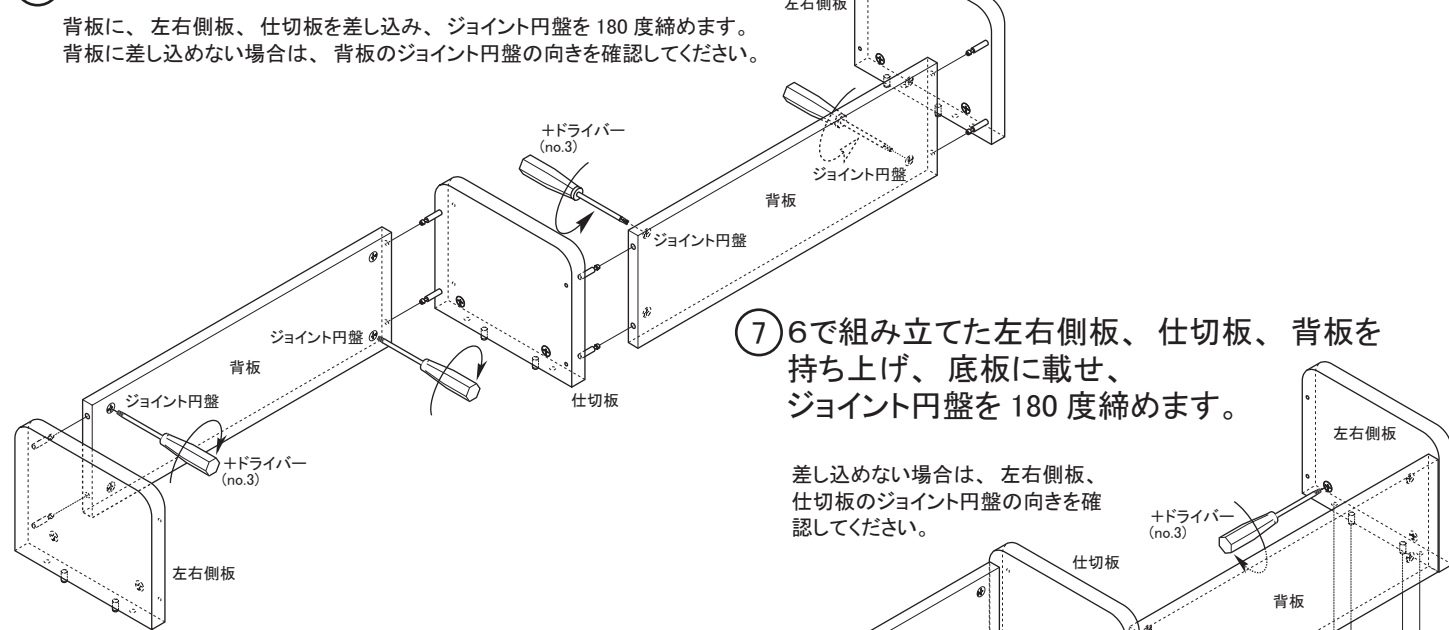
両面から使用の場合

片面から使用の場合

※使用するジョイント円盤の高さに注意
背用ジョイント円盤 (高さ13mm) を使用すると、板表面から円盤が中に入りすぎます。

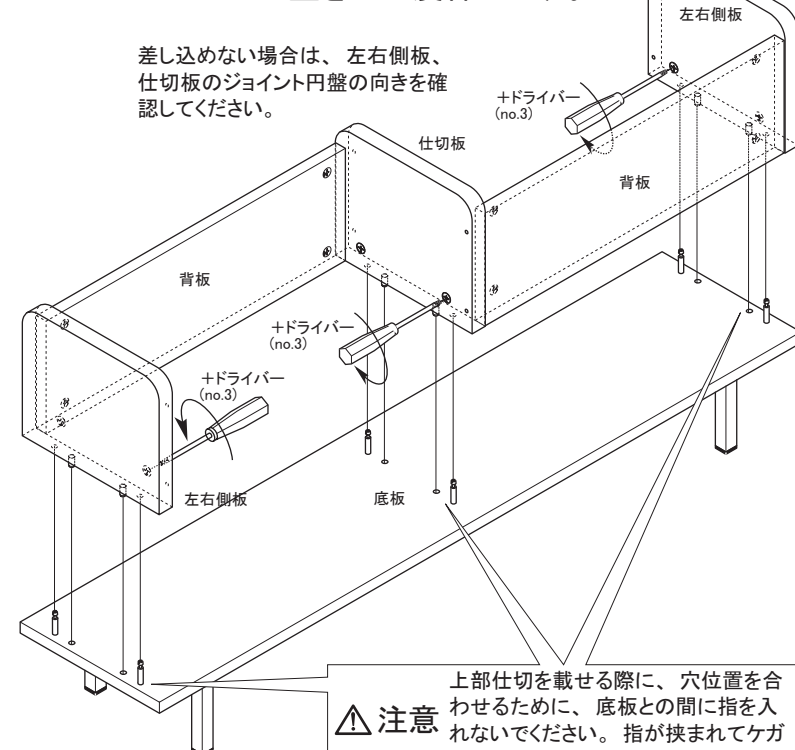
左右側板と仕切板の区別は、ジョイントピン取付用の穴が、片面しかないのが左右側板。両面にあるのが仕切板になります。

⑥ 左右側板、仕切板、背板を組み立てます。



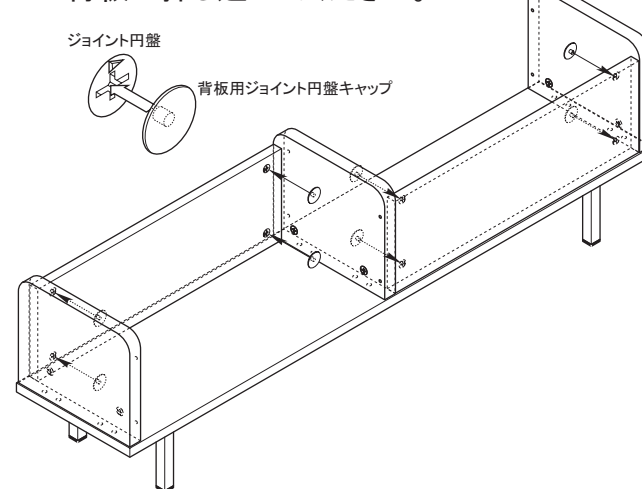
背板に、左右側板、仕切板を差し込み、ジョイント円盤を180度締めます。背板に差し込めない場合は、背板のジョイント円盤の向きをご確認ください。

⑦ 6で組み立てた左右側板、仕切板、背板を持ち上げ、底板に載せ、ジョイント円盤を180度締めます。



差し込めない場合は、左右側板、仕切板のジョイント円盤の向きをご確認ください。

⑧ 全てのジョイント円盤が締まっているかを確認して、背板用ジョイント円盤キャップを背板に押し込んでください。



△ 注意
上部仕切を載せる際に、穴位置を合わせるために、底板との間に指を入れないでください。指が挟まれてケガをすることがあります。